

仙人通信 107 大峰山 (1254m)・吾妻耶山(1341m)

大峰山・吾妻耶山は関東の水上インターの西に聳える山体で、関東地区に点在する大和武尊に纏わる山名の山でもある。月夜野インターから草津方面に向かい、上津大原の信号を右折、サイクルスポーツセンター先のキャンプ場の駐車場からのピストンを計画した。標高 850mの駐車場横の大峰沼への標識に従い、杉木立の中を進む。林床では白いヒカゲスミレやチゴユリが賑やかに咲き、ヒトリシズカも竿状の花を持ち上げ、山の春を告げる。モリアオガエルで有名な古沼を横目に 25 分程登ると、カエルの大合唱の大峰沼が目の前である。オレンジ色のヤマツツジがゲートを飾る。この大峰沼はミツガシワやヒツジグサで有名であるが、まだ時期が早いようだ。沼を 15 分程で対岸に廻り、尾根に向う。ガマズミやムクラの白い小さな花、そして紫のラショウモンカヅラが階段の横を埋める。15 分で尾根に出る。ミズナラが中心の登山路は柔らかい日の光が入り快適である。ミツバツツジが崖の下に散見される。路の両側では途切れる事無く、タチツボスミレやチゴユリの花だ。チラリと梢越しに大峰沼が見え、風に乗ってカエルの大合唱が聞える長閑さである。20 分程でガイドブックには大変危険と記されたキレットであるが、改修されV字状に鉄製の階段が組まれており不安はない。更に 15 分でテレビ塔の下に着く。フェンスの横では、日の光を受けてフデリンドウ・ヒメハギ・蕨・ぜんまいそしてミツバツツジも綺麗である。ここまでは中継設備管理用の林道がある。鉄骨の展望台を過ぎ 15 分程で大峰山の山頂である。山頂は、この時期ミズナラ等の木々で展望は利かない。吾妻耶山の山体を梢越しに眺めての緩やかな尾根路が続く。チゴユリに混じりマイズルソウ・タケシマランも白い蕾だ。ミツバツツジの先には、水上の町や関東道が顔を出す。ヤマガラが囀る以外に小生の腰に付けたカウベル以外の音は無い、静かな山路だ。30 分で赤谷越峠を越えて登りとなる。エンレイソウに似た葉のツクバネソウ・紫色のニオイタチツボ・タチツボ・白いニオイスミレやキイチゴが花を連ねる。そうそうチゴユリも負けじと咲いている。25 分程登ると大峰山分岐で大きな岩壁に当り、山頂は右に折れ、なだらかなコースとなる。窪地一面には、白いイチリンソウが昨日の雨で重くなった花弁を擡げている。リックからカメラを取り出して夢中で撮る。先ほどの分岐から 10 分程で鳥居の立つ山頂である。山頂には、三基の石の祠が水上方面に向けて安置され、その先に白い雪形を付けた武尊・白毛門・谷川・平標・三国等のかつて登った山々が望める。残念であるが谷川のオクノ耳から雲が取れない。眼下の水上の街も綺麗だ。休憩後、登って来たコースをテレビ塔まで戻り、大峰沼へのコースを取った。下り初めて直ぐに、赤紫のエンレイソウに出会えて、嬉しさが込み上げシャッターを切った(今回は沢山の葉を見ているが、殆どが結実状態であった)。やがてカエルの大合唱に迎えられ車に戻った 6 時間の山路でした。(h24.5.30)

吾妻耶山山頂の祠

山頂からの谷川岳

エンレイソウ

